

優秀賞

おせったいというしんせつ

徳島県 国府小学校 一年

長尾 紗那

わたしは、「おへんろ」をしています。おへんろとは、しこくの八十八かしょのおてらにおまいりすることです。わたしが、なぜおへんろをしているかという、ははからさそわれたからです。はははおへんろがすきで、わたしがうまれるまえから、おてらをたくさんまわっていました。

「さなもいっしょにいこうよ。」

といわれて、いっしょに行くようになりました。

おへんろに行くときは、「びゃくえ」という白いうわぎをきて、「わけさ」をくびからさげて、おへんろさんのかっこうをわたしもします。おてらのほんどうと、だいしどうで、「ほんにゃしんぎょう」をよむのがすきです。

こうして、おてらをまわっていると、ほかのおへんろさんや、おてらの人、おてらのちかくにすんでいる人が、こえをかけてくれます。

「えらいなあ。」「かわいいね。」「おきょうじょうずによめるんやな。」

と、よくいわれます。こえをかけてくれるだけでなく、のみものやおやつを、くれるときもあります。このように、おへんろさんにおもてなしをすることを「おせったい」といいます。しこくへんろではあたりまえのことですが、めずらしいことなのだそうです。

わたしは、おせったいをうけて、とてもうれしくなって、おせったいをしてくれる人のやさしさがつたわってきます。おへんろをしていて、よかったなあとおもいます。きっとほかのおへんろさんも、おせったいをうけたら、とってもかんしゃするのではないのでしょうか。

とくに、ずっとあるいておてらをまわっているおへんろさんは、おせったいをしてもらうと、うんとよろこぶとおもいます。そして、ながいみちのりがあるくことも、できるでしょう。わたしとははは、くるまでおてらをまわっていますが、こえをかけてもらうだけでも、とてもあたたかいきもちになります。

おせったいは、「ちいさなしんせつ」からうまれるものだとおもいます。そのしんせつは、みんなをえがおにすることができます。わたしは、人にしんせつにすることが、とてもたいせつなことだと、おへんろをしていて気づきました。

ほんとうのことをいうと、さいしょはびっくりしました。でも、あとから気づきました。おせったいは、とってもすてきななあと。これからも、おせったいというぶんかが、ずっとつづいてほしいです。そして、わたしは、おせったいをされるがわではなく、おせったいをするがわにもなりたいです。また、おへんろにかんけいなく、まいにちのせいかつでも、人にしんせつにすることをわすれないようにしようとおもいます。

みなさんも、おへんろはいいけいけんになるし、たのしいので、ぜひいってみてくださいね。